

議会だより

17-Seventeen



南に延伸する高速道の一日も早い完成を = (前原町上空から)

市内でも高速道の工事が進み、概要が少しずつ姿を現し町の様相が変貌している。
写真中央には、小松島インターチェンジ（仮称）が出来るなど早期の完成を目指している。

目次

常任委員会報告(9月)	2~4
議会が評価した主な事業	4~6
議案等賛否表	7
9月定例会議の一般質問	8~15
議会モニター会議を開催、クイズ	15
12月定例会議日程等	16

9月定例会議 常任委員会報告

総務常任委員会

委員長 廣田 和三

来年度から会計年度任用職員が創設されるに伴う条例等整備

当委員会には、議案4件、陳情5件が付託され、審査の結果、議案4件は原案どおり可決された。可決された議案等は次のとおり。

- ◎議案第68号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について、来年度から一般職の会計年度任用職員が創設されるに伴い、関係する条例の整備及び整理を行うもの。
- ◎議案第69号 小松島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条

文教厚生常任委員会

委員長 井村 保裕

他市に先駆け 保育料に副食費も無償化する

当委員会には議案5件、報告2件が付託され、原案のとおり可決した。

- ◎議案第72号 子ども・子育て支援法の改正により、子どものための教育・保育給付に関する「支給認定」が「教育・保育給付認定」に改められたので、所要の改正を行うもの。
- ◎議案第73号 子ども・子育て支援法等の改正により、特定地域型保育事業者等に求められる特定教育・保育施設との連携の要件緩和とともに、3歳から5歳までの子ども

消費税率8%から10%増に伴う条例改正

当委員会では議案6件が付託され、審査の結果、原案のとおり可決した。

- ◎議案第75号 小松島市道路占用料条例
- ◎議案第76号 小松島市法定外公共用財産管理条例
- ◎議案第77号 小松島市地域下水道条例
- ◎議案第78号 小松島市サイクルシアター条例

産業建設常任委員会

副委員長 南部 透

消費税率8%から10%増に伴う条例改正

当委員会では議案6件が付託され、審査の結果、原案のとおり可決した。

- ◎議案第79号 徳島市内における給水区域の見直しに基づき給水区域の規定を改めるとともに、水道法の改正により、指定給水装置工事事業者の指定につき更新制が導入されたことから、指定工事業者更新手数料についての規定を追加する等改正を行うもの。
- ◎議案第82号 日峯大神



日峯大神子広域公園

該当する危険物施設の設置許可申請の審査手数を引き上げ改正するもの。

陳情5件

陳情5件のうち、第4号（第7号までは、6月定例会義より継続審査していたもので審査の結果、不採択となった。

●**陳情第4号** 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情について。

●**陳情第5号** 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情について。

●**陳情第6号** 日本政府に「核兵器禁止条約の調印・批准をすることを求める」意見書採択を求める

る陳情について。

●**陳情第7号** 米軍普天間飛行場の辺野古移転を促進する意見書に関する陳情について。

●**陳情第8号** 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情書について。

◇**所管事項での質問**◇

●**津川** 9月7日に電話の回線障害があったが、119番通報に影響は、

◇**消防次長** 2時間30分ほど不通になったが、その

間市民に防災行政無線や広報車により、119番回線が現在不通であることを周知すると共に119番の迂回設定に努め消防・救急に影響はなかった。

●**米崎** 公用車にドライブレコーダーを設置している車はあるか。

●**総務課長** 消防の特殊車両等に数台設置している。

所在はどうか。

●**副市長** 当時の貸し付けの実態について詳細はわからないが、その当時の事務処理が適正でなかった指摘は認めざるを得ない。こういった回収困難な債権については、国や

●**報告第26号** 住宅新築資金等貸付事業の債権管理条例の規定に該当する債権を放棄するもの。

●**報告第27号** 公用車運転中に発生した物損交通事故の損害賠償の報告である。

◇**所管事項での質問**◇

●**井内** 人間ドックの申し

込みの方法について、現在は早朝から長時間並んで手続きしている。ほか

●**保健福祉部副部長** 現在は先着順であるが、他市においてはがきで抽選というところもあると聞く。今後より良い方法にする。

●**南部** 南小松島駅のトイレの改修はどうか。

●**市民生活課長** 県の補助メニューで可能であれば協議していく。

●**池淵** 学校再編の今後のスケジュールは、どうか。

●**教育政策課長** 議会の報告の後に、地域住民の地元説明会を10月中旬から11月中旬で行う。その後住民アンケートを行う。



さかの認定こども園 給食風景

子広域公園（脇谷地区）整備事業において整備する必要のある区域につき、都市公園を設置すべき区域を決定するもの。

◇**所管事項での質問**◇

●**小松島市競輪局**は包括業務委託先の公募（7月19日（25日）を行ったが、応募がなかった。



小松島競輪場

●**米崎** 「小松島競輪場民間委託応募なし。市は条件を見直し、再募集することに」と報道されていたが、その経緯は。

●**競輪局長** 小松島競輪開催業務等包括委託及び施設整備業務のプロポーザルを行ったが、参加者がなく中止した。要因とし

て、収益の柱の一つミッドナイト競輪の自場での実施が不透明であること。これを踏まえ地元協議会と協議を重ね、施設整備終了次第、ミッドナイト競輪の実施に同意を口頭でいただいた。10月の再募集へ調整を行っている。

●**井村** 10月のプロポーザルに応募がなければどうなるのか。

●**競輪局長** 不調になれば、来年度は直営方式をとらざるを得ない。新たな大規模施設整備、包括業務については来年度以降に検討する。

●**佐野** 老朽危険空き家の除却を市の補正を組んでも進めるべきでは。

●**住宅課長** 国費、県費の範囲内で執行していく。

●**松下** 所有者の意思だけでなく、危険な空き家に対しては特別措置法を活用し撤去をしては。

●**住宅課長** 危険な住宅には直接持ち主へ除却を求める踏み込んだ対応をしている。

予算決算常任委員会

委員長 佐野 善作

平成30年度一般会計決算・特別会計決算を部局別に審査

抽出した十九事業を事務事業評価し、委員会提出議案として本会議に上程

本委員会は、9月13日・

17日・18日・19日・25日・

26日の6日間、平成30年

度決算認定9議案並びに

令和元年度一般会計・後

期高齢者医療特別会計・

公共下水道事業特別会計

の補正予算を慎重審査の

上、いずれも認定・可決

した。

また、平成30年度健全

化判断比率・公共下水道

事業資金不足比率・水道

事業資金不足比率につい

て、いずれも正常である

との報告を受けた。

令和元年度一般会計

9月補正予算を可決

補正額

1億1129万6千円

【補正予算のうち主なもの】

中学校施設修繕費

4024万3千円

旧小松島幼稚園舎解体

工事

2910万8千円

南小松島公民館解体工事

1049万2千円

放課後児童健全育成事業

1116万円

排水機場管理運営事業

1128万4千円



佐野委員長(右)から前川議長へ評価報告書を提出

議会が評価した主な事業

災害対策事業



議会評価
拡充する

H30年度決算額
801万円

津波緊急一時避難場所を増設し、避難施設になりえる建築物等の建設に掛かる民間への補助金制度、また市民の自助力強化に向け防災士取得の補助金制度を導入すべきである。

日峯大神子広域公園 (脇谷地区) 整備事業



完成イメージ図

議会評価
現状のまま継続する

H30年度決算額
2億0049万円

国の交付金を受けての事業であり、市民からの要望・期待度も高い。埋蔵文化財調査及び国、県との協議を早期に終え、計画的に令和4年度の完成を目指し、事業を推進すべきである。

議会評価
現状のまま継続する

H30年度決算額
4633万円

消防分団詰所の新改築は地域住民から多くの期待が寄せられており、耐震化されていない詰所については順次計画的に整備する必要がある。今後、施設の統廃合も検討していかなければならない。



消防施設整備事業

議会評価
現状のまま継続する

H30年度決算額
2300万円

観光・食の魅力等、更なる発信をしていくため、観光プロモーション動画を有効に活用し、注目度を高めることは継続すべきである。小松島市ならではの体験型観光の開発も一層促進する必要がある。



観光・イベント振興事業

議会評価
現状のまま継続する

H30年度決算額
895万円

先進地事例なども調査研究し、広告宣伝の強化、受け入れ体制の充実や職の斡旋等に取り組むと同時に、定住候補者のターゲットを定め、Iターン、Uターン等の施策にも早急に取り組む必要がある。



移住・定住促進事業

↑ QRコードを読み込むとPR動画を見ることができます。

空き家等対策事業



イメージ図

議会評価

現状のまま継続する

H30年度決算額
574万円

対策事業の周知、所有者に対して管理・除去を適正かつ計画的に進めていかねばならない。除却が進まない危険な空き家に対しては特定空き家の認定を行い、除却を強く推し進めていくべきである。

その他の事務事業評価

事業名	H30年度決算額	議会評価
防災行政無線管理事業	1522万円	現状のまま継続する
農業振興地域整備計画改定事業	597万円	現状のまま継続する
農業用排水路整備事業	3080万円	現状のまま継続する
市道整備事業	3385万円	拡充する
道路橋梁整備交付金事業	1億2106万円	拡充する
道路橋梁新設改良交付金事業	7429万円	現状のまま継続する
側溝清掃事業	1419万円	現状のまま継続する
合併処理浄化槽設置補助事業	699万円	拡充する
高速道路対策事業	1億2002万円	現状のまま継続する
ごみ焼却施設整備事業	2億0067万円	現状のまま継続する
自殺対策事業（自殺対策計画策定）	388万円	終期設定し終了
障がい福祉サービス事業	10億0755万円	拡充する
公民館整備事業	4265万円	現状のまま継続する

議会評価意見書を 市長に提出

平成30年度に実施された事業のうち、議会が重要と判断した19事業について、議会の評価意見書を策定。予算決算常任委員会の委員会提出議案として上程し、本会議において全会一致で可決した。

散会后、前川議長（右）から濱田市長に意見書を提出した。



議員の賛否表（令和元年9月定例会議）

議案等	委員長報告	議員名（議席番号順）													結果			
		南部透	津川孝善	近藤純子	佐藤光太郎	井内章介	橋本昭	松下大生	四宮祐司	米崎賢治	廣田和三	池淵彰	吉見勝之	出口憲二郎		井村保裕	杉本勝	佐野善作
陳情第4号	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第5号	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第6号	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	不採択
陳情第7号	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第8号	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

委員長の報告に対して ○は賛成 ●は反対 欠席の場合は「欠」 ※議長（前川英貴）は、採決に加わりません。

以下の議案 28 件、委員会提出議案 1 件、議員提出議案 1 件は全会一致（欠席者を除く）で可決。

第56号	平成30年度小松島市一般会計歳入歳出決算の認定について	第71号	小松島市消防手数料条例の一部を改正する条例について
第57号	平成30年度小松島市競輪事業特別会計歳入歳出決算の認定について	第72号	小松島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について
第58号	平成30年度小松島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	第73号	小松島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
第59号	平成30年度小松島市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	第74号	小松島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
第60号	平成30年度小松島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	第75号	小松島市道路占用料条例の一部を改正する条例について
第61号	平成30年度小松島市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	第76号	小松島市法定外公共用財産管理条例の一部を改正する条例について
第62号	平成30年度小松島市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	第77号	小松島市地域下水道条例の一部を改正する条例について
第63号	平成30年度小松島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	第78号	小松島市サイクルシアター条例の一部を改正する条例について
第64号	平成30年度小松島市水道事業会計決算の認定について	第79号	小松島市水道事業給水条例の一部を改正する条例について
第65号	令和元年度小松島市一般会計補正予算（第2号）	第80号	権利の放棄について
第66号	令和元年度小松島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	第81号	権利の放棄について
第67号	令和元年度小松島市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	第82号	都市公園を設置すべき区域の決定について
第68号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	第83号	公平委員会委員の選任の同意について
第69号	小松島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	委 提 第2号	議会評価意見書の提出について
第70号	小松島市固定資産評価員及び同補助員に関する条例の一部を改正する条例について	議 提 第6号	小松島市議会委員会条例の一部を改正する条例について



陳情第4号・第5号の委員長報告(不採択)に対して賛成討論

佐野 善作 議員

陳情第4号、陳情第5号について
 普天間基地は宜野湾市のど真中の住宅密集地にあり、非常に危険な状態である。
 日米安全保障体制は国民の生命・財産や領土を守るために重要なことであり、沖縄県内の基地は地理的条件から、国の防衛上、重要な位置にある。
 また、沖縄県の近く、県外で適地があり、早急に基地移転の受入れられるところがあるとは思えない。
 当初の普天間基地周辺の危険性を除去するという最初の目的を早期に実現するために、この陳情の採択に、反対する。

討論



陳情第6号・第7号の委員長報告(不採択)に対して反対討論

吉見 勝之 議員

陳情第6号について
 本来、外交や国防は国の専管事項だが、核戦争の危機の中で、住民の生命と財産を守る事を使命とする自治体が、国家に全てを委託できないとして、国家に対して行う「異議申し立て」の企てとされる。非核平和都市宣言を1984年9月議会でした小松島市議会とすれば採択するのは当然だ。
 陳情第7号について
 辺野古移設反対派は「基地のたらい回しだ」と言うが、基地の面積は三分の一に縮小。現宜野湾市のど真ん中と、海岸沿いに統合移設するのとどちらが安全か。しかも、辺野古三地区は移設に条件付きで容認している。



市政 Q & A

一般質問・発言要旨

質問者名	件名	
佐藤光太郎	本市の財政状況について	P9
	会計年度任用職員について	P9
	権利擁護の推進について	P8
松下 大生	民間建築物の耐震化について	P8
	遊休市有地の利用計画について	P9
	市業務の民間委託について	P9
吉見 勝之	ごみ収集について	P11
	公営住宅について	P10
	平成31年4月の市議会議員一般選挙について	
	長期休暇中の学童保育の昼食について	
	施設の管理について	
	「健康いきいき」について	P10
	農業振興費について	P10
井内 章介	少子化対策の取り組みについて	P10
	小・中学校の AED 設置状況について	P10
	ごみ処理施設の広域化について	P11
杉本 勝	日峯大神子広域公園について	P11
	防災について	P11
	公園・森林整備について	
	免許証返納について	
池淵 彰	高齢者にやさしいまちづくり政策をもっと積極的に	P12
	子育て世代への魅力づくりのあり方について	
	魅力ある強い農業づくりについて	P12
四宮 祐司	高齢者問題について	P13
	消費税の引き上げについて	
	四国横断自動車道について	P12
橋本 昭	ごみ広域処理計画について	P13
	市役所で働く非正規労働者改善について	
近藤 純子	防災情報に対する最新の取り組みについて	P14
	いつまでも暮らしやすいまちづくりについて	P14
	四国横断自動車道にかかる周辺対策について	P15
南部 透	農業用水路整備について	P14
	JR 駅について	P14
	主権者教育の推進について	P15

権利擁護（法人後見）の推進は

啖啄の会
佐藤 光太郎 議員

答
現状において
推進が必要である



民間建築物耐震事業の申し込みが年間を通してできるように

前進クラブ
松下 大生 議員

答
長い期間の募集を可能とする
ことも1つの方法と考えている



佐藤 現在本市において、高齢者数12700名、そのうち1200名程度の人に認知症状があるがどのような対策をしているか。

介護福祉課長 日常生活自立支援事業を社会福祉法人で行っている。

佐藤 国では2025年問題への対策、とりわけ、成年後見制度利用の迅速な推進が必要ではないか。

介護福祉課長 少子化・高齢化が進んでいる現状において推進は必要である。

佐藤 弁護士や司法書士等の専門職による成年後見受任の受け皿に限界が見えてきつつある中、法人後見を検討すべきでは。
介護福祉課長 法人後見であれば持続性があり、本人の資産が少なく専門職による後見人の選任が困難な事案にも対応しやすく、また、日常生活自立支援事業で培ったノウハウを活用でき、本人の

意思を尊重した支援が行えるので必要な制度である。



本市の財政状況は

佐藤 財政調整基金の大幅な減少と、経常収支比率及び将来負担率が悪化しているが昨年度の決算状況は。

総務部長 平成30年度普通会計の単年度収支額は3795万円の黒字決算であるが、市税や地方交付税の減少、また、先送りをしてきた大型事業や老朽化した施設への対応のため財政調整基金・減債基金の合計5億3618万円を取り崩した。

佐藤 今後の見通しは。

総務部長 社会情勢への対応等財政需要の高まりが予測されるが、事業実施にあたり、人口減少社会を見据えた施設等の適正管理の推進等のトータルコストの削減による財政負担の軽減を図る。

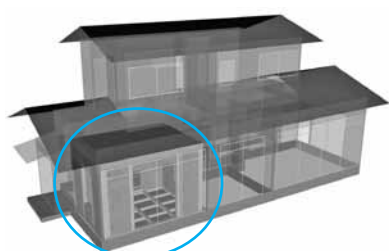
臨時・非常勤職員の制度改正に伴う財政負担は

佐藤 会計年度任用職員制度と財政負担は。

人事課長 地方自治法・地方公務員法改正により従来、臨時的任用職員・非常勤職員として雇用されてきた職員が次年度より当該制度の対象となる。支出は増額すると予測されるが、財政措置の要望を行っている。

佐藤 処遇が悪くなる人はいないのか。
人事課長 制度上減額となる場合もあるが、3年間は差額の相当額を支給する。

松下 民間建築物の耐震化は、地震に備え人命を守るために必要な事案であり、本市では、耐震改修促進計画が策定されて以来、建築物の耐震化を進めているが、全然進んでおらず、早急に耐震化を進めなければならぬ。他市では、耐震化事業の申し込みを年間通してでき、非常に使い勝手がいい。本市でもこれ入れ策として耐震化事業の申し込み期間を年間を通してできるようにしては。



耐震工法の1つである耐震シェルター

住宅課長 この制度を利用する側にとって、より使いやすくするため、募集開始時期を少し前倒し

するなど、より長い期間募集をすることも1つの方法と考えている。

市有地の遊休地利用について

松下 今後、統廃合による学校などの教育関連施設や除却予定である公営住宅等の跡地といった未利用予定地が増えることが予想される。未利用の土地の資産整理、また、利活用を計画的に進めるために利用計画または、基本方針などを策定し、計画的な取り組みを進めている自治体もあるが、本市は計画的が見えない。計画的に進めていく必要があると思うが。

市業務の民間委託について

松下 近年の財政状況は、大型公共工事を控えている状況を鑑みると、まだまだ歳出削減に力を入れる必要がある。他市町村では業務の民間委託を行い、コスト削減に大きな成果が出ている自治体もある。今後、どのように取り組みを進めていくのか。

総務課長 将来的に公共施設の再編等に伴い生じてくる土地等、また、現在保有している土地等は、まずは行政目的での利用について検討し、次に売却、保有等、検討していくことになる。遊休土地の利用方針等の策定

総務部長 行政事務の中で民間委託の導入の視点は非常に重要であると認識している。現在、本市の行革の進め方については、市の行政改革プラン2015に基づいて推進をしているが、このプランは、本年度で最終年度を迎えるため、令和2年度以降の新たな行政改革で今後、取り組んでいく。

市営住宅使用料の滞納対策は

やまももクラブ 吉見 勝之 議員

答 悪質な滞納者については、積極的に訴訟を提起する

吉見 住宅使用料徴収残高が次のように増えている。対策は。

	年度末未収金	前年度との増減
26年度	4億0954万円	2532万円
27年度	4億2348万円	1394万円
28年度	4億2593万円	252万円
29年度	4億1685万円	△908万円
30年度	4億1937万円	252万円

住宅課長 戸別訪問を夜間にも実施。悪質な滞納者については積極的に訴訟を提起し明け渡しを求め。令和2年4月から口座引き落とし開始も予定。

骨髄移植ドナー助成金制度とドナー休暇制度は

吉見 ドナーは事前の検査や検診、入院して骨髄採取、採取後の検診と仕事を合計1週間以上休む必要がある。本人だけでなく職場に対する助成制度を本市も導入しては。

保健センター所長 569市町村が実施。予算の半分を都道府県が助成するところもあり、県の動向を注視し研究する。

吉見 本職員にドナー休暇制度は有るか。
人事課長 国家公務員の制度にならって、平成5



年に導入された。

鳥獣被害防止事業100万円とは

吉見 令和元年度の予算に鳥獣被害防止事業100万円計上されているが、小松島市有害鳥獣捕獲対策協議会へ委託している事業費、財源、収支決算書の監査などは。

産業建設部副部長 小松島市有害鳥獣捕獲対策協議会の事業費は約172万円。内訳は市100万円、JA45万、繰越金27万円。有害鳥獣捕獲業務を小松島地区猟友会に120万円で委託。その他、被害対策実

少子化対策について

令和の会 井内 章介 議員

答 就学前施設の統廃合は、認定こども園化に

井内 今年10月から幼児教育・保育料の一部無償化が実施されるが、要点は。

児童福祉課長 幼稚園・認可保育所・認定こども園などに通う全ての3歳〜5歳児及び住民税非課税世帯の0歳〜2歳児の保育料を無償化する。

井内 就学前施設の統廃合について、あり方検討会で協議しているが、今年度がプラン5年間の最終年度であり、ある程度方向性は出せるのか。

保健福祉部長 就学前教育・保育施設の運用状況、小学校再編計画等を踏まえながら認定こども園化に向け進める方向である。

井内 小中学校のAED設置状況について

井内 小中学校のAEDの設置台数は。また、設置場所の明示がされているのか。

学校課長 市内全ての小中学校に1台以上設置しており、設置場所は玄関やAEDの設置場所付近など目につくように表示している。

井内 市内13校で講習会を定期的に実施しているのか。また、規模の大きい学校にAEDを増やす考えは。



学校課長 AEDの設置場所を点検し、救命講習会を充実させ、いち早くAEDを使用できる環境づくりに努めると共に、設置台数の増については学校の実態に応じて検討する。



救急救命法講習会

井内 ごみ処理施設の広域化について

井内 ごみ処理施設の広

施隊に侵入防止柵の整備を予定。差し引きが生じた場合には、今後の支援程度について厳正な審査を行う。

環境衛生センター所長

年間6回、1回5点まで収集。申込み後、衛生センターから送られるシールを貼り、収集日当日午前8時半迄に、指定した場所へ出す。シールが貼られていないもの、申込みの品目や時間が違うものは収集できない。

粗大ごみの戸別収集の注意点は

吉見 粗大ごみの戸別収集時の注意点は。

日峯大神子広域公園の整備について

新風はなみずき 杉本 勝議員

答 埋蔵文化財発掘調査後、公園整備を推進する

杉本 日峯大神子広域公園の進捗状況は。

まちづくり推進課長 テ

ニスコート及び児童公園

等の一部撤去工事や公園整備に支障となる工作物等の移転、また、本年5月には野球場内の全面的な試掘調査を終えた。現在、

公園駐車場の確保に向けた取り組みを進めている。

杉本 この工事はいつから着工できるのか。

まちづくり推進課長 公

園用地内における本年度の遺跡の試掘調査を受けて、土器などの異物等の存在が確認され、県から



粗大ごみは手作業で解体し、リサイクル又は焼却処分する



は日峯大神子広域公園整備工事施工前に発掘調査が必要と指示があった。

公園整備の設計や工程スケジュールをもとに、現

在、教育委員会と発掘範囲の場所、費用等を含めて協議を進めており、協議が整い次第、本年度内

域化計画のこれまでの経緯と現状は。

市民生活課長

平成29年3月、広域処理に関する協定書を締結して以降、建設候補地隣接の田浦町、前原町、新居見町、江田町の地元協議会ははじめ市民説明会を開催し、地元のご理解・ご協力に

避難目標地点とは

杉本 避難目標地点（ミ二四国88カ所遊歩道）とは。

危機管理課長

ミ二四国88カ所は、元根井漁港側から日峯山の小松島灯台を経由し、山頂付近に至る遊歩道である。平成26年度2月に策定した本市の津波避難計画におい

て、避難目標地点となっ

ている。津波の危険から

命を守るため、地域住民

の方が避難の目標として

津波浸水想定区域外に設定した地点は、市内に43カ所設定されている。

杉本 目標地点に街灯設

備は。

井内

建設予定地の地元飯谷町及び周辺地域の住民から水質汚染等を危惧し反対運動が起こっているが。

市民生活課長

排水処理等環境に配慮した施設であり、環境影響評価を行い、万全の対策を行う。

備は。

危機管理課長

当該所に夜間照明は設定されていない。公園の環境設備にもつながる夜間照明の設置は、今後管理者である徳島県に要望する。

遊歩道の街灯設備は

杉本 遊歩道の延びた木により照明が遮られ、地

周辺住民等の反対があっても広域化を推進するの。用途は。

市長

広域整備は財政メ리트があるため、市民の事業理解に努めたい。また、現施設の老朽化など課題を抱える関係市町と共に徳島市の事業進捗に応じ推進したい。

面が見えにくい場所や、街灯が長期間故障したままのものがある。対応は。

都市整備課長

遊歩道の照明灯は夜間の安全な通行の確保や防犯上重要な役割を担っており、故障については早期復旧に努め、照明の支障となる樹木管理についても管理徹底していく。



日峯ミ二四国88カ所

認知症対策のひとつとして、GPS など見守りシステムの導入を

みらいの会 池淵 彰 議員

答 年度内に取り組みたい
ならば、早急に取り組みたい



池淵 認知症対策についての取り組みは。

介護福祉課長 地域や職

域で認知症の人や家族を手助けする認知症サポーターの養成を進めている。今年度は、小学生、中学生にも講座を行う予定である。また、認知症初期集中支援チームの体制を整え、複数の専門職が認知症の疑われる人や認知症の人、また、その家族に対して、初期の支援を包括的・集中的に行っている。

池淵 徘徊の恐れのある認知症の方にGPS機能を靴につけるようなチップなどがあり、心配する



見守りあんしんシール着用イメージ

家族には非常に安心できるものである。行政として導入の考えは。

保健福祉部長 包括支援

センターで把握している徘徊や行方不明となった事例が昨年度7件、今年度は8月末で同数の7件で、ご家族や関係者は大変心配であったと思う。GPSや見守り安心シールなどの探知システムの

農業振興 地域整備計画は

池淵 農業振興地域整備

計画の具体的な施策は。 **産業建設部副部長** 農用地利用計画と農業振興地域の一体的な整備のための計画により構成する。和田島地区で農地中間管理機構が借り入れる農地について、徳島県が農地の大区画化等の基盤整備

四国横断自動車道完成に向けた市の取り組み状況は

公明党 四宮 祐司 議員

答 立江櫛淵地域活性化ICの連結許可、立江櫛淵・阿南間の先行供用を国に強く訴えている



四宮 阿南・徳島東間は、

国の直轄区間であり、通行料も無料区間となり、

完成が待たれるが、四国横断自動車道完成に向けた市の取り組み状況は。

産業建設部副部長 新直

轄区間の阿南・徳島東間における今年度の当初予算で、昨年度の3割増しとなる過去最大の約177億円が確保され、供用までの工程決定の鍵となる羽ノ浦トンネルの整備について、5年程度で工事を完成させるための予算が盛り込まれた。立江櫛淵地域活性化インターチェンジの連結許可を要望するとともに、先

行して工事着手した立江櫛淵・阿南間からの先行供用を強く訴えている。

四宮 本市の将来の発展

につなげるための鍵を握る立江櫛淵地区のインターチェンジの実現に向けた取り組みは。

産業建設部副部長 地域

活性化インターチェンジと地域振興拠点施設の一体的な設置により、高速道路のストック効果が最大限発揮できる。徳島県及び関係市町と連携強化のもと、立江櫛淵インターチェンジの連結許可及び立江櫛淵・阿南間からの先行供用が図られるよう、取り組んでいる。

四宮 高速道路のネットワークを生かした新たな街づくりについて、市長

の考えは。

市長 高速道路ネットワークの形成により、陸と港が有機的に結ばれ、真の地方創生の切り札となることから、その実現に向け果敢に挑戦していく。



完成が待たれる四国横断自動車道(前原町)

を実現することで、豊かで競争力のある農業の現に資することを目的に事業検討を進めている。また、田野地区では、近年の米消費の減少、米価格の低迷が続く中、地域に合った儲かる農業の実現のため、水田の畑地化や汎用化等に向けた基盤

整備と合わせ、地域全体での転換営農を推進することを目的とする県営かんがい排水事業の検討を進めている。

ターチェンジに併設し、強い農業づくりをするためにも、拠点施設整備を推進する必要があるのでは。

池淵 立江櫛渕地域に、例えばライスセンターを計画するとか、もう少し拠点を増やすべきだ。立江櫛渕の高速道路イン

は、一定程度認識している。引き続き、今後においても、事業主体の徳島市の事業進捗に合わせて事業理解に努める。

が、一定程度認識しているが、件数は減少しているが、

ごみ広域処理施設建設予定地の地元反対運動についての認識は

日本共産党 橋本 昭議員

建設候補地における反対に向けた状況は、一定程度認識している



橋本 大型焼却炉建設候補地の地元では反対運動が盛り上がっている。徳島市飯谷町の一つの集落では、これまで声を上げなかつた女性たちが一斉に声を上げ建設反対の決議をしている。また、多

の若いお母さん達が、子どもの未来は必ず守ると言って、広域ごみ処理施設の建設計画の白紙を求めて「ごみ問題学習会」を開き、焼却炉建設反対の幟が町内一円に立てられている。さらには、自動車にスピーカーを載せ

て、「命と水と大気を守れ」と、熱心に訴えている人もいる。建設候補地の反対運動を、小松島市当局はどのように見ているのか。

橋本 飯谷町で反対運動をしている幹部が、徳島市長に質問状を出した。その返事が昨年の5月に文書で幹部の家に届いた。この文書には、「飯

谷町協議会は任意団体であり、法令等に規定され

た組織でない」と書かれていた。徳島市のごみ広域行政を担当している「環境施設整備室」が、昨年の6月に文書を作成している。この文書には、「協議会等で決めたことが、地元の総意とは言い難い」と言っている。次に、こういう事も言っている。「協議会等との合意を交わした場合約束を果たせないときに、責任を問われるのは市側だけである」と。そして、地元対策協議会に対して「市は助言を控えるべきだ」と述べている。その理由として、市の御用聞き組織であるかのよう

な誤った印象を与える恐れがある」と述べている。この文書の作成には弁護士が関与している。「徳島市長の責任に及ばないように配慮する」。私は、そのように理解した。このような徳島市の見解を、小松島市はどのように判断しているのか。

市民生活課長 事業主体の徳島市での見解との認識なので、本市の立場として特段答えることはない。

家良町では、子育て世代

の幟が町内一円に立てられている。さらには、自動車にスピーカーを載せ

て、「命と水と大気を守れ」と、熱心に訴えている人もいる。建設候補地の反対運動を、小松島市当局はどのように見ているのか。

市民環境部長 建設候補地周辺地域における反対に向けた状況について

は、一定程度認識しているが、件数は減少しているが、

施設内の処理設備



環境衛生センター（芝生町）



施設内の処理設備

防災情報に対する最新の取り組みはできているか

新風はなみずき 近藤 純子 議員

答 洪水(土砂災害)ハザードマップは最新情報に更新し、今年度中に市民に届ける業務を進める



近藤 小松島市では防災ハザードマップWeb版をこの4月に立ち上げ、パソコンや携帯電話から確認できる。周知してほしいが、市の取り組みは。

危機管理課長 Web版の機能を生かせるよう、市民・市外の方にも、防災講話等を通じ周知に努める。

近藤 Web版は手軽であるが、急いで確認できない現状がある。市作成の洪水(土砂災害)ハザード



近藤 中心市街地が繁栄を支えたが、車社会への

いつまでも暮らしやすいまちづくりに向けて

危機管理課長 国の手引に準じ更新の必要性を認識し作成を検討する。

来るが市の考えは。

近藤 津波ハザードマップ紙版も最新にすれば命を最優先とする備えが出るが市の考えは。

更新し、今年度中に市民に届ける業務を進める。

危機管理課長 作成してから年数も経過しており

要がある。市の考えは。

転換等により活性化に待ったなしの状態である。まちづくり事業費として本年度予算額を計上しているが、市の考えは。

まちづくり推進課長 医療・福祉・子育て・商業

の日常生活に必要なサービスを教示できるまちづくりに向け、本年度から2ヶ年を目標に立地適正化計画の作成に取り組む。

近藤 中心市街地に住んでいる人が望む場所です

まで通り、生活・店舗経営をする事が可能か。

産業建設部副部長 当該

区域において住み慣れた地域で安心して快適な暮らしを継続する事が可能な

農業用水路や道路の整備に交付金の更なる活用を

至誠コマツシマ 南部 透 議員

答 対象地域の拡大、組織の強化を図る



多面的機能支払交付金制度とは、農業・農村の有する多面的機能(生物多様性保全機能、水質浄化機能)の維持・発揮のため地域活動に支払われる。

からも市に有利な直接支払交付金制度。前身の制度を含めると10年以上になるが活用できていない地域がある、現状は。

産業建設部副部長 市内

には活用する9組織が設立されたが、江田、中郷、日開野地域では取り組みが進んでいない。

南部 10年以上にもなる制度のため、数千円もの整備資金が活用できていない地域もある。活用されていない地域への今後の後押し、また既存組織への取り組みは。

産業建設部副部長 対象

地域の拡大を図るため研修会を開き、認知度向上

に努める。また、既存の組織へは組織の広域化や体制強化を図る。

JR駅活用で街の活性化を

南部 小松島西高校の最寄り駅である中田駅のトイレ廃止撤回を。

市民生活課長 JRはトイレ設置車両で運行しており、経営上のコスト管理などから維持は難しいとのことだが、情報周知のあり方など要請を行う。

南部 バスの発着するハ

ブ機能、パターンダイヤの導入で、乗降客数が伸びている南小松島駅を観光の拠点駅に。

南部

本制度は、負担面



光の拠点駅に。

議会モニター会議を開催しました

令和元年7月25日、議会モニターの皆さんと議員との「第1回モニター会議」を開催。

委嘱後、初めての議員との会合であり、自己紹介の後、モニターの皆さんから議会運営等について意見交換を行った。



<議会に対する意見>

- ・議会傍聴、来てみないとわからないことがあるということに改めて気づいた。(若林勝弘)
- ・委員会の録画放送は音が明瞭ではない、改善を。(若林勝弘)
- ・議員個々のSNSを大いに活用し、情報発信を。(松本真樹)
- ・新しい議員も加わり、新たな議会改革に期待したい。(若林勝弘)
- ・選挙の時だけでなく、普段の議員の活動に対する市民の関心・期待度が投票率に反映される。(上甲清子)

※その他、多数の御意見をいただいた。

出席モニター

上甲清子、谷澤義治、前川和子、
松本真樹、山本 潤、若林勝弘 (50音順・敬称略)

クイズ

徳島県のシラス(ちりめんじゃこ)漁獲量は3,037トンで、平成28年の農林水産統計では全国第9位です。

このうち、和田島漁業協同組合の漁獲量が約54%を占めているのですが、さて、シラス(ちりめんじゃこ)は主に何の稚魚でしょうか。次の3つからお選びください。

- ①サメ ②マグロ ③カタクチイワシ

応募方法

はがきに答え・住所・氏名・年齢を記入。
正解者の中から、抽選で5名様に図書カード1000円分プレゼント!
〔当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。〕

あて先
〒773-8501
小松島市横須町1番1号
小松島市議会事務局
(締切日 令和元年11月30日消印有効)

前回もたくさんのご応募、
ありがとうございました。

前号クイズの答え

オクラの
花は?

答え ②



まちを目指す。
近藤 計画を具体的にどう取り組んでいくのか。
まちづくり推進課長 市の施設や、事業者に支援制度を活用して活性化に寄与し暮らしやすいまちづくりを推進する。
近藤 案は市民の要望を十分汲み取れるものか。

まちづくり推進課長 公聴会、説明会等を通じて思いを計画に反映する。
近藤 四国横断自動車道に係る周辺対策(市道田浦43号線の整備)は
近藤 新居見町から田浦町の側道整備の進捗は。
まちづくり推進課長 今

年度は橋梁の下部工事に着手する予定である。
「**神田瀬川・芝生川**」の整備及び維持管理は
近藤 神田瀬川と芝生川上流の繁茂が激しいが、維持管理の継続実施は。
まちづくり推進課長 県への要望に鋭意努める。

商工観光課長 駅に観光案内書を設置、重要な拠点施設と認識している。
主権者教育の推進を
南部 主権者教育の見本となるチームがある。小松島西、小松島高校が中心となり結成された市河

川の浄化を目指すチームリバー。彼らのように地域の課題を知り、考え、意見を持ち、議論し、行動できる若者を小中学校から育てるべきでないか。
学校課長 主体的対話的で深い学びにつながる学習の充実を進めている。
南部 本市の0歳児数は

221人、14歳までの若者数は3889人(8月31日付)。子どもが減る中、小松島の未来を真剣に考える若者を多く育てていかないといけない。
教育長 小中学校から主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度の育成に努める。

令和元年12月 定例会議 日程

◎開会時刻はすべて午前10時です。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
		開会	休会 (議案調査)	質疑 一般質問	質疑 一般質問	
8	9	10	11	12	13	14
	休会 (予備日)	総務 常任委員会	文教厚生 常任委員会	産業建設 常任委員会	予算決算 常任委員会	
15	16	17	18	19	20	21
	休会 (事務整理)	議決・散会				
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	※12月5日(木) 午後0時20分~50分 ふれあい市議会コンサートを開催予定			

議会を見学しよう

定例会議は、3月、6月、9月、12月に開催します。すべての会議、委員会で傍聴できます。皆さんの傍聴をお待ちしています。

議会を読もう

議会だより「Seventeen」は、2月、5月、8月、11月の各5日に発行します。ぜひ、皆さんの生活に密接に関わる議会の活動を知る時間にご覧ください。

議会を動画で見よう

本会議の様子をケーブルテレビでライブ中継をしています。翌日夜、録画再放送も行っています。委員会はインターネットで録画配信をしています。

議会に参加しよう

議会に対して陳情等を提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。

発行／小松島市議会
議長 前川英貴

ふれあい市議会コンサート

定例会議の一般質問初日（9月5日）のお昼休み、本会議場にて「ふれあい市議会コンサート」を開催し、『小松島コーラス・マリン』の皆さんにご出演いただきました。議場に素敵なピアノの音色と合唱の美しいハーモニーを届けてくださいました。



編集／議会広報特別委員会
委員長 廣田和三

昭和30年頃の赤石港



赤石山から和田島方面を望んだ風景。遠く和田島大手海岸までは、ほとんど家屋は見えない。



現在の風景

今昔風景

写真で見る市内の

- | | | | | | | | |
|-----|-------|------|------|-----|------|------|------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 南部透 | 佐藤光太郎 | 近藤純子 | 井内章介 | 橋本昭 | 吉見勝之 | 津川孝善 | 廣田和三 |

広報委員

「議会だより、どれくらい読んでますか？」という問いに、読んでいる方が多い。読んでいる方が多いのは、議会だよりが、市民の生活に密着した内容で、読みやすいからだと思います。見やすさ優先でデザインから変える、内容充実のため議員発言の中身を磨く、QRコードから動画配信する…など、意見はさまざま。

今後、市民の皆さまにもコメントをいただけるようホームページにご意見窓口を設けることを検討中。実現した際は、ぜひ建設的なご意見を投稿ください。（津川孝善）

編集後記